

2024年9月11日
人材育成委員会委員長 高木幸雄
理事 北山朝也

オルタナティブデータハッカソン開催報告

2024年8月28日に「オルタナティブデータハッカソン」を開催し、大盛況のうちに終了いたしました。本ハッカソンについて以下の通りご報告いたします。

1. 目的

今回のハッカソンの目的はオルタナティブデータの分析に LLM (Large Language Models : 大規模言語モデル) を活用して、オルタナティブデータの新たな活用方法を見出すことです。そこで、ハッカソンのテーマは「財務情報とオルタナティブデータの関係性の仮説立案」としました。

この背景には、本年1月31日に開催されました「オルタナティブデータ EXPO2024」において、「LLM の資産運用業界への活用や先進事例の共有」が課題として問題提起されていたことがございます。人材育成委員会ではそのような課題に対する解決のアプローチとして、会員企業が保有するオルタナティブデータと金融データを組み合わせた LLM 活用のハッカソンを行い、その成果を協議会内で共有していくこととしました。

2. 開催概要

開催日時：2024年8月28日（水）17時～19時

参加者：14社43名 JADAA 会員企業

資産運用会社、生損保会社、データプロバイダ、システム開発会社、大学等
提供データ：株価四本値、財務情報、財務諸表（株式会社JPX 総研）

TV メタデータ、CM データ（株式会社エム・データ）

ハッカソンモジュール開発：AlpacaTech 株式会社

株式会社電通総研

冒頭約40分かけて本ハッカソンの環境や操作方法の説明を行ったため、実際の作業時間は約1時間半となりましたが、主催者側の予想を超える多くの分析結果が各社から提示されました。

3. 結果

短時間のハッカソンでしたが、実に様々な分析結果を参加者の皆さまから共有頂きました。EPS と関係している可能性がある TV/CM データを使った指標の仮説立案という、本ハッカソンのテーマに即したのものや、特定銘柄の株価動向に関係するキーパーソンの発言の特定など、一般的には難しいとされる構造データと非構造データを組み合わせた分析において LLM を活用することが「素早くお

およそのあたりをつける」という、分析担当者が仮説を作る際に有効な手法であることを示すものもございました。また、定性的な解析において、人間が行うと個人の感覚などで結果がぶれてしまうような分析も、同一の LLM を活用することで安定的に定性的な解析を行うことができることが確認されました。

本ハッカソンの結果の詳細な分析については後日公表予定です。

4. 所感

多くの協議会メンバーが集い、皆さん楽しく分析をされたことが本ハッカソンの主催者としては最も良かった点となります。また、短期間のイベントであったにもかかわらず、実に多くの分析結果が提示されたことから、LLM の実力を改めて実感できるハッカソンになったのではないかと思います。オルタナティブデータと LLM を組み合わせた様々な分析を、非エンジニアでも試行錯誤しながら実行できる、それが実現できる世界になってきております。人材育成委員会では本取組の活性化など、会員企業にとって有益となる施策を今後も検討してまいります。

以上